

過去最多！33団体応募！！



なはセン通信

Vol.94

2024年
5月発行

目次

- 交付団体一覧 2
- 初！防災キャンプ 2
- なは市民協働大学 3
- なはセンのすゝめ 4

問い合わせ

なは市民活動支援センター
098-861-5024
C-KATU005@city.naha.lg.jp

令和6年度なは市民活動支援事業 公開審査会

5月11日(土)、12日(日)に「令和6年度なは市民活動支援事業助成金交付の公開審査会」が行われました。

過去最多のエントリー数があつた今年度の「なは市民活動支援事業」。33団体が公開審査に挑み、活動への熱い想いを審査員に伝えました。那覇市の課題に対して多様な視点から取り組む、各団体の企画内容プレゼンテーションは、どれも素晴らしいものでした。本事業のエントリー数と企画の内容からも那覇市の「市民力」を感じることができ、審査に悩む委員の姿が印象的な審査会となりました。

また、公開プレゼンという

こともあり、エントリーしていない一般の方の見学もありました。公開審査をきっかけに、次年度以降に挑戦してみたいと思う人材が生まれることを期待しています。

採択をされた14団体の皆さんおめでとうございます！今回、惜しくも採択はされな



公開審査会の様子



審査員の様子

参加者の声

ミネコヤが目指す「出会い・関わり・選択できる」地域づくりを伝える良い場になりました！貴重なご意見も頂き、これからの活動に活かします！

ミネコヤ 神谷さん



かった団体の皆さんも本事業に挑戦していただき、ありがとうございました！市民活動の拠点として「なは市民活動支援センター」を引き続きぜひご活用ください！

なは市民活動支援センターについて



駐車場について・・・

なは市民協働プラザ地下駐車場（駐車台数：39台）

メカルパーキング（駐車台数：70台）

※なは市民活動支援センターをご利用の場合、駐車料金は減免の対象となります（例：2時間100円）

◆開館時間、休館日

月・火・木・金	9:00-21:00
水・土・日	9:00-17:00
休館日	年末年始・慰霊の日

◆施設利用料金 ※1時間当たりの料金 ※オンライン機材貸出可

	収容人数	料金	冷房
会議室①	84人	1,300円	400円
会議室②	30人	650円	200円
会議室③	30人	650円	200円
会議室④	8人	200円	100円
会議室⑤	12人	200円	100円
会議室⑥	12人	200円	100円
会議室⑦	5人	200円	100円
会議室⑧	20人	250円	100円
研修室①	16人	200円	100円
研修室②	16人	200円	100円

◆めかる学習ステーション

開館時間中、なは市民活動支援センター 2階を学生・社会人向けの学習スペースとして開放しています！

放課後の勉強時間に、待ち合わせの合間に、それぞれの学習ペースに合わせてご利用ください。

なはセンお薦め図書



『公民館のしあさって』

著者：公民館のしあさって出版委員会



日本全国、1万4000にものぼる公民館の数。実際にどのような場所かと問われると、意外と回答に困るもの・・・。那覇市繁多川にある、「繁多川公民館」はエジプトにも繋がっちゃう！暮らしの傍にある公民館の可能性を垣間見れる一冊です。きっと、読んだ翌日には、近くの公民館を訪ねたくなるはず！

助成金情報

◆ボランティア活動資金助成事業

【締め切り】6月14日（金）まで

【助成対象】5名以上で活動し、営利を目的としないグループ・団体 他

【申請・問合せ】公益財団法人みずほ教育福祉財団 (mail: fjp36105@nifty.com)

詳細はコチラ



編集後記

今月のピックアップイベントだった「なは市民活動支援助成事業」の公開審査。たくさんの市民力の姿を垣間見ることができ、これからの各活動の取材が楽しみです！

「令和6年度なは市民協働大学」はじまります！

『協働』を共に学ぶ仲間募集中！

今年も「なは市民協働大学」の
の時期がやってきました！

今回のテーマは、『地域と在
住外国人の協働』と『地域と学
校の協働』。

繁多川公民館、若狭公民館を
はじめ、豪華な講師陣をお迎え
します。さらに今年は、講師だ
けでなく、地域で活躍する協働
の先輩方も招き、現場の声を聴
きながら『協働』について学び
合います。

座学はもちろん、グループに



なは市民協働大学
受講生募集
令和6年度

【応募条件】

1. **地域づくり**に興味がある人
2. **全講義** 参加できる人(託児サービスあり)
3. 那覇市 **在住、在勤・在学** 優先

締切 **令和6年6月14日(金)**

場所 **なは市民活動支援センター**
那覇市銘苅2丁目3番1号(なは市民協働プラザ2階)

受講料 **無料**

定員 **30名**

こんな人におすすめ

- 那覇市のことをもっと知りたい
- いろんな人と繋がりたい
- 自分の住んでる地域が好き
- 地域活動に参加してみたい

分かれて、現地視察(任意)
もしながら那覇市の協働に触
れられるチャンス!協働の一
歩がこの講座から始まりま
す。

申し込みは
コチラ



なはセン! イベント情報

6/6 (木)18:30-19:30

「令和6年度なは市民協働大学説明会」

なは市民協働大学って何?大学受講を検討しているけど、受講前に詳しく知りたいという!など講座への疑問をスッキリ解決する事前説明会を開催します。ご興味ある方はぜひご参加ください!



なは市民協働大学
概要説明会
令和6年度

開催日 **令和6年6月6日(木)**

時間 **18:30-19:30**

会場 **なは市民活動支援センター会議室1**
那覇市銘苅2丁目3番1号(なは市民協働プラザ2階)

対象 **受講検討中の方**

問合せ **なは市民活動支援センター**
TEL:098-834-1111 FAX:098-834-1112

参加無料!
申込不要!

6/5 (水)18:00-20:30

「ボランティアまっちゃんぐカフェ」

ボランティア活動をしたい人とボランティアを求める団体の交流会を開催します! コーヒーを飲みながら「気になるボランティア」について話してみませんか?



申し込みは
コチラ

なは市民協働大学の原点

いい暮らしより、楽しい暮らし

2009年は「市民大学」
として「栄町アーケード通
り」を拠点に開催され、翌年
2010年から始まった『な
は市民協働大学』。
「いい暮らしより、楽しい
暮らし」をテーマに協働を担
う人材発見のため、当時、た
くさんの市民が本講座に集ま
りました。



初回入学式の様子 (栄町アーケード街にて)

なんと・・・当初の講座数
は、全部で24回。現在の3
倍の講座が1年間かけて開講
されていきました。
そして、「協働」の想いを
時代の変化にあわせて受け継
ぎながら、今年、13期目を
迎えます。本講座を通じ、那
覇市の協働によるまちづくり
の一步を市民の皆さんと楽し
く踏み出せることを願いま
す。



フィールドワークの様子

なは市民活動支援事業交付団体一覧 (計14団体)

<スタート>

1	team AMMA	那覇西湾岸地域を中心とした在沖ネパール人と協働で作る災害に強いまちづくり～Action Message Meals Assist～	119,000円
2	キャンサー・グリーンおきな和	がんで大切な人を亡くした方(遺族)への支援事業	174,000円
3	ななほしてんとうむし会	沖映通りの防災パンフレット(マップ)づくり	186,000円
4	ミネコヤ	地域のつながり創出事業	200,000円
5	牧志3丁目自治会	牧志3丁目・井戸端会議プロジェクト	200,000円
6	ワクワクゆんたくカフェ	ワクワクゆんたくカフェ(多世代交流型カフェ)	200,000円

<ステップ>

1	ネパール献血者協会	外国人献血普及啓発事業～献血はいつでもどこでも誰でもできる～	275,000円
2	山城塾(無料塾)	自主夜間中学校の設立	320,000円
3	那覇市自治会長会連合会	なはユース自治大学～自治会を新たなキャンパスに～	361,000円
4	みんなでなろう！ キキレンジャー実行委員会	「防災・危機の学びをチカラに～みんなでなろう！キキレンジャー～」イベント事業	469,000円
5	みんなのアイマイミー	子育て応援プログラム 那覇で孤育てしない居場所づくり事業	496,000円
6	結の広場	子育て支援事業	500,000円
7	株式会社FROGS	課題解決プログラムを通して子どもの非認知能力を育成「なはミライアカデミー」	500,000円

<ステップアップ>

1	在沖縄県ベトナム人協会	多文化共生社会構築プログラム	1,000,000円
---	-------------	----------------	------------

初！防災キャンプ in 若狭小学校



みんなで朝から「うちなーぐちラジオ体操」

4月27日(土)・28日(日)、指定避難所である若狭小学校にて、初の「防災キャンプ」が開催されました！

「防災キャンプ」とは、「キャンプ」を通じて楽しく学ぶ防災訓練です。

避難時に「本当に自分にとって必要なもの」を見極める機会は、ありそうで意外とないもの……。 「防災キャンプ」では、自分が持ってきたものを

見つけた！私に必要な防災グッズ

実際に使い、避難所での時間を過ごすことで、本当に必要なものは何か体験します。

今回、最終日の朝ごはんには、若狭公民館で毎月行われている「朝食会」とチームAMMAも参加し、若狭地域に多く住む在沖ネパール人が日常的によく食されるマサラチャイとキール(ミルク粥)が振舞われました。近所に住む在沖ネパール人学生や親子も参加し、実際に避難所で共に生活する地域の人の「顔が見える関係構築」のきっかけとなる時間にもなり充実した時間となりました。



参加者との記念撮影